

○ 電力(電気事業連合会)

火力発電所の熱効率の比較(発電量に対する投入熱量)(2010年)

日本	イギリス	北欧	ドイツ	米国	中国	フランス	インド
100	98	104	111	113	125	126	159

出所:INTERNATIONAL COMPARISON OF FOSSIL POWER EFFICIENCY AND CO2 INTENSITY(2013年)(ECOFYS社)

電気事業のCO2排出原単位(発電端)(2011年)

日本	フランス	カナダ	イタリア	イギリス	ドイツ	米国	中国	インド
100※	15	36	87	94	100	109	164	187

※[参考]2010年:83

出所:“IEA Energy Balances of OECD Countries 2013Edition/ Energy Balances of Non-OECD Countries 2013Edition”より電気事業連合会

○ 石油(石油連盟)

製油所のエネルギー消費指数の比較(2004年)

日本	先進アジア諸国 (中国除き)	西欧	米国・カナダ
100	101	103	113

出所:Solomom associates社(米国のコンサルタント会社)の調査結果より作成  
同社独自の指標である「エネルギー消費指数」を比較したもので、同指数は換算通油量を用いており、石油業界が自主行動計画で採用している製油所エネルギー原単位と類似した性質を持ち、数値が低いほど高効率であることを示す

○ 鉄鋼(日本鉄鋼連盟)

鉄鋼業のエネルギー原単位の比較(2010年)

日本	韓国	ドイツ	中国	イギリス	インド	米国	ロシア
100	104	112	117	123	124	132	136

出所:(財)地球環境産業技術研究機構(RITE)「2010年時点のエネルギー原単位の推計」(2010年)

○ 化学(日本化学工業協会)

電解苛性ソーダの製造に関わる電力消費量の比較(2009年)

日本	韓国	中国	カナダ	中東	インド	米国	西欧	東欧	メキシコ
100	100	103	105	107	109	109	111	112	118

出所:CMAI “Capacity Database 2009”及び日本ソーダ工業会「ソーダハンドブック」(2009年)より作成

○ 鋳業(日本鋳業協会)

銅精錬工場のエネルギー原単位比較(2000年)

日本	欧州	アジア	北米	南米
100	133	143	154	202

出所:日本鋳業協会調べ  
銅精製工場のエネルギー原単位(MJ/ton)を比較したもの

○ アルミニウム(日本アルミニウム協会)

板材圧延工程での消費エネルギー量比較(2000年)

日本	世界
100	127

出所:国際アルミニウム協会(International Aluminium Institute)、LCA日本フォーラムLCAデータベース(2006年)

世界最高水準の技術(BAT)を導入した場合の削減ポテンシャル

○ 製紙(日本製紙連合会)

BATを導入した場合の主要国紙パルプ産業の省エネポテンシャル(GJ/T)

日本	ドイツ	フィンランド	フランス	米国	カナダ	ロシア	全世界
0.3	0.1	1	2.3	6.5	8.3	12.9	3.0

出所:IEAエネルギー技術展望「ETP2012」(Energy Technology Perspective)

○ セメント(セメント協会)

BATを導入した場合の省エネポテンシャル(GJ/T)

日本	ブラジル	インド	欧州(OECD加盟国)	中国	韓国	米国	全世界
0.4	0.5	0.6	0.8	0.9	1.3	1.4	0.9

出所:IEAエネルギー技術展望「ETP2010」(Energy Technology Perspective)